

## 平成 28 年 3 月 六萬寺の森保全活動記録<山地保全研修・演習>

日時 平成 28 年 3 月 26 日

出席: 17 名

講師: 日本森林ボランティア協会 丸井正史氏

活動支援: 東大阪市みどり景観課 土屋大輔氏

立会: 往生院六萬寺 川口泰弘氏

会場: 往生院六萬寺(六万寺町 1 丁目)民具供養館/岩滝周辺

集合: 09:30: 近鉄奈良線瓢箪山駅南口西へ 400 歩、

座学: 09:50~11:20: 竹の植生・竹林整備〔丸井正史講師〕於民具供養館

- ①竹の生態
- ②竹の種類
- ③放置竹林の問題
- ④放置竹林の原因
- ⑤竹林整備計画
- ⑥竹林整備の実態、伐採技術

演習: 12:45~14:45: 竹刈り実習〔丸井正史講師〕岩滝周辺

各自装備: 腰紐付きノコギリ携帯、ヘルメット・ゴムいぼ付軍手着用

作業チーム: 3 名編成、5 班

演習内容: 傾斜地に繁茂するマダケの皆伐・搬出・玉切り・谷筋に集積

### 参加感想

山地の現況が認識できた。

山地保全活動に参加でき有意義であった。

環境教育に生かしたい。

次回も参加したい。

解散: 15:15

### 振り返り

天気も良く、若い人達の参加もあり、作業に元気が出て良かった。

山地保全の勉強と竹刈りが貴重な体験であった。

マダケの伐採はモウソウチクに比べ容易な作業。

しんどい作業で声掛けなど安全の確保が必要。

防塵用ゴーグルも必要。

竹伐採の後は空が明るくなり心地良い。

ヒノキの間伐は経験済みだが竹刈りは初体験で、これから広めたい。

ノコギリ作業は 40 年振りで見事無かったが、チームワーク良く作業できた。

竹刈り後の地滑りを恐れる。

山地保全は意識の高い地権者との繋がりが肝要。

傾斜地での作業には身体確保用のロープが欲しい。

撓った竹切の反り返りにソムリエはヒヤリとした。

(後日連絡)伐採竹の引出搬送・玉切り・谷筋への搬送作業は負担大

